

白河駅前のイルミネーションが点灯
輝く光が冬の夜を彩る

12月19日、JR白河駅前イベント広場で、イルミネーションの点灯式が行われました。
市中心市街地活性化協議会が様々な団体の協力を得て、今年は白河駅前から市立図書館（道場小路）までイルミネーションの規模を拡大しました。関係者がスイッチを押すと、約2万灯の電飾が一斉に点灯し、集まった人々から歓声があがりました。
イルミネーションの点灯は、2月11日まで実施しています。



▲白河駅前で輝くイルミネーション

市立図書館 郷土講演会
本市のシンボル小峰城の歴史を学ぶ

12月15日、市立図書館（道場小路）で郷土講演会が行われました。
鈴木功市都市政策室文化財課課長補佐が講師となり、「小峰城の成立と展開」をテーマに、小峰城の歴史、成立、展開を分かりやすく説明しました。
会場には、市外からも城郭ファンが集まり、講演後には、崩れた石垣の復旧方法など、多岐にわたる質問が出て、小峰城に対する関心の高さがうかがえました。



▲小峰城の歴史に耳を傾ける来場者の皆さん

おひさまひろばクリスマス会
音楽や人形劇を親子で楽しむ

12月11日、マイタウン白河（本町）で、「おひさまひろばクリスマス会」が開かれました。おひさまひろばでは、会員の皆さんにクリスマス気分を親子で楽しむのもうらため、毎年開催しています。
会では、50組の親子が手遊びや簡単な運動でスキンシップをしたり、スタッフとボランティアがハンドベル演奏や人形劇を披露したりして、子どもたちを楽しませました。また、サンタクロースも登場し、満面の笑顔で喜ぶ子どもたちの姿が見られました。



▲親子で楽しくスキンシップ

まちの話題やイベント
を皆さんに。
まち
Topics



▲選考会の様子

第18回中山義秀文学賞が決定！
西條奈加さんの「涅槃の雪」が受賞

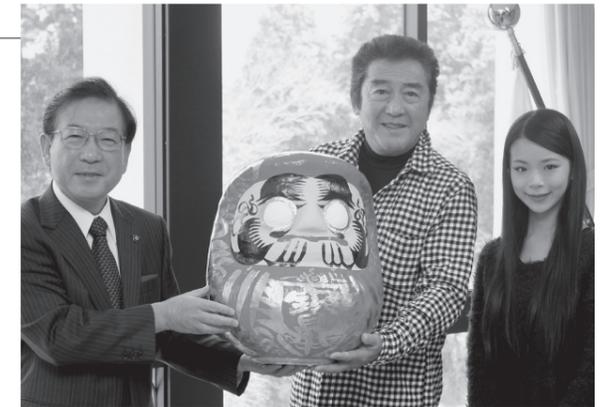
12月15日、文化センター（中田）で「第18回中山義秀文学賞公開選考会」が開催され、最終選考に残った3作品の中から、西條奈加さんの「涅槃の雪」が受賞作に選ばれました。
選考会では、(財)立教志塾理事・副塾頭の人見光太郎さんをコーディネーターに、作家の津本陽さん、竹田真砂子さん、安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さんの4人の選考委員により審査が行われました。
中山義秀文学賞は、文学賞としては全国で唯一、公開選考方式で受賞作品が決定されます。会場には、受賞作品決定の瞬間を見ようと、多くの文芸ファンが駆け付けました。



▲選考の様子を来場者が見守りました

松方弘樹さん、趣里さんが本市を訪問
本市が映画のロケ地に

映画「風来坊（仮題）」の撮影のため、本市を訪れていた、俳優の松方弘樹さん、女優の趣里さんが、12月10日、鈴木市長を表敬訪問しました。
松方さんは、「皆さんが協力してくれるので、撮影がしやすいです」、趣里さんは「皆さんが温かくて、こちらも温かい気持ちになります」と本市の印象を話していました。この映画は、「ビターコーヒーライフ」の横山浩之監督、井内徳次プロデューサーが制作。本市をメインロケ地に撮影されます。



▲鈴木市長から白河だるまを受け取る松方さんと趣里さん